

(工学研究科)

公益財団法人伊藤国際教育交流財団
2016 年度外国人奨学生の募集

H27. 10. 22

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

1)外国人留学生で、2016 年 4 月に、博士前期課程へ正規生として入学を予定している者、又は 2015 年秋入学の者。

2)2016 年 1 月または 2 月に実施される面接を受けられる者。

3)2016 年 4 月 1 日現在で 29 歳以下の者が望ましい。

* 30 歳以上で応募する者は「今、留学を希望すること」を提出すること。

4)「留学」の在留資格を持ち、在日している者、又は「留学」の在留資格が取得できる予定の者(海外より応募される方は、財団事務局まで、ご連絡下さい。)

5)日本語ができること。

6)他の機関から奨学金の援助または特典を受けない者。

2 奨学金の内容

月額180,000円 全国で10名に支給。支給期間は2年以内

3 提出書類等

募集要項は財団へ郵送、又はホームページ(<http://www.itofound.or.jp>)で請求すること。

4 募集締切 2015 年 10 月 31 日(土)(当日消印有効)

5 応募方法 直接次の住所に郵送すること

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
公益財団法人伊藤国際教育交流財団外国人奨学金係



平成27年9月25日

東北大学 御中

東京都新宿区西新宿3丁目8番4号
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団
理事長 佐藤 哲也

2016年度外国人奨学生の募集について（依頼）

拝啓 貴学にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当財団の奨学金事業にご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

伊藤国際教育交流財団は宗教法人真如苑開祖・故伊藤真乗大僧正の遺志により、平成3年2月28日に設立されました。当財団は、伊藤真乗大僧正の遺志を受け継ぎ、誠実で才能に満ち、かつ独創的な青年たちのために奨学金の援助を行い、もって我が国と諸外国との相互理解の促進に寄与するとともに、世界に貢献できる人材の育成を目指して事業を展開しております。

この度、外国人の留学希望者を対象に約10名の奨学生を募集いたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、希望の学生には「2016年度外国人奨学金のお知らせ」（A4版1枚）を配布していただきますようお願いいたします。

尚、個人応募の奨学金ですので、応募希望の学生には個人で当財団ホームページより、資料請求するようご案内をお願いいたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

送付書類

一、2016年度外国人奨学金のお知らせ

30枚

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団

2016年度 外国人奨学金のお知らせ

公益財団法人伊藤国際教育交流財団では、日本の大学等の修士課程に留学する外国人留学生を対象に、奨学金の希望者を次のとおり募集します。

奨学金の内容

奨学金は月額18万円、支給期間は2年以内です。10名程度を募集します。

応募資格

1. 外国人留学生で、日本国の大学等の修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績、人格ともに優秀で経済的援助を必要としている方。
なお専攻分野を問いません（博士前期課程は修士課程とみなし、応募可能です）。
2. 2016年4月から入学する方。または2015年秋入学の方。
（2015年秋入学の方の奨学金支給は2016年4月から修士課程修了までです。）
3. 2016年1月23日（土）・2月21日（日）におこなわれる面接選考を受けられること。
2日間のうち、どちらか指定された日になります。変更はできません。
4. 当財団の奨学生として採用決定後、ガイダンスに参加できること。
5. 2016年4月1日現在において、年齢が29歳以下の方が望ましい。
※30歳以上で応募する方は「今、留学を希望すること」を提出すること。
6. 「留学」の在留資格により在日しているか、または「留学」の在留資格が取得できる予定の方。
（海外より応募される方は事務局までご連絡ください。）
7. 日本語ができること。

※応募時点で研究生の方でも2016年4月に修士課程入学を予定されている方は応募可能です。

※以下の方は応募対象外となります。

- ・現在、修士課程に在籍している方（2015年秋入学の方をのぞく）。
- ・2016年4月に博士後期課程へ進学する方。
- ・研究生、研修生、専攻生、聴講生、交換留学生として進学予定の方。
- ・他の機関から奨学金の援助または特典を受ける方。

募集締切

2015年10月31日（土）当日消印有効

募集要項の取り寄せ方

※当財団のホームページからダウンロードできます。

※郵送希望の場合は便せん等に氏名、郵送先、電話番号、「外国人募集要項希望」と明記し、郵送料として205円分の切手（※速達希望は485円分）を同封のうえ、当財団までご請求下さい。

《郵送申し込みは10月23日（金）必着》

お問い合わせは下記まで……

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金係

電話 03-3299-7872

Home Page URL <http://www.itofound.or.jp>

*土、日、祝日を除く午前9時～午後5時まで受け付けます。

*12月28日～1月3日は休日とさせていただきます。

2016年度（平成28年度）・第25期

外国人奨学生募集要項

Announcement

of the 2016 ITO Scholarship Awards for Foreign Students

御参考

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団

ITO FOUNDATION FOR INTERNATIONAL EDUCATION EXCHANGE

公益財団法人伊藤国際教育交流財団では、日本の大学等の修士課程に留学する外国人留学生を対象に、奨学金の希望者を次のとおり募集します。

設立趣旨

公益財団法人伊藤国際教育交流財団は、しゅうきぎょうほうじんしんにょえん 宗教法人真如苑開祖・故伊藤真乗大僧正の遺志により設立されました。

伊藤真乗大僧正は1906年3月28日に山梨県で出生。1936年に立教。しんごんしゅうそうほんざんだいごじ 真言宗総本山醍醐寺において伝統の奥義を修めて大阿闍梨となり、仏陀がその偉大なる生涯の終わりにのぞんで説き遺された大般涅槃経を所依とする在家仏教教団を開設。1989年7月19日にご遷化されました。

伊藤真乗大僧正は教育の必要性に対し深い理解を持ち、生前には世界的見地に立って、学術研究への協力を努め、あわせて社会奉仕、発展途上国への教育助成を推進し、さらに国家間の多様な問題に対応しうる人材の育成に力を注がれました。

伊藤国際教育交流財団は、伊藤真乗大僧正の遺志を受け継ぎ、誠実で才能に満ち、かつ独創的な青年たちのために奨学金の援助並びに海外の大学等研究機関が実施する学術研究に対する助成支援を行い、もって我が国と諸外国との相互理解の促進に寄与するとともに、世界に貢献できる人材の育成を目的としております。

設 立

1991年2月28日 文部省より認可
公益財団法人移行日：2010年11月1日

基本財産

1,600,000,000円

役 員

- 〈理事長〉 佐藤哲也 /核融合科学研究所/総合研究大学院大学/兵庫県立大学 名誉教授
〈専務理事〉 伊藤泰弘 /宗教法人真如苑総苑室
〈理事〉 石黒静児 /核融合科学研究所
ヘリカル研究部基礎物理シミュレーション研究系 教授・研究主幹
大友康裕 /東京医科歯科大学医歯学総合研究科 教授
岸田一雄 /宗教法人真如苑事務局本部長
鋤柄佐千子/京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科先端ファイブ科学部門 教授
馬越恵美子/桜美林大学経済経営学系 教授、株式会社日立物流 取締役
〈監事〉 森川祐亨 /公認会計士、有限責任監査法人トーマツ パートナー
和田正隆 /弁護士
〈評議員〉 小高俊彦 /株式会社日立製作所 名誉フェロー、東京大学 客員教授
小林 孝 /DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン (株) IRCA リードアドバイザー
佐渡島紗織/早稲田大学国際学術院 教授
立川壮一 /藤田保健衛生大学 名誉教授
藪内佐斗司/東京藝術大学大学院美術研究科 教授、彫刻家
山本修一 /日本大学理工学部 教授
山本隆子 /神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科 教授

(2015年9月現在)

奨学金の内容

生活費	月額18万円	募集人数	10名程度
奨学期間	2年以内（ただし、修士課程在籍期間に限る）		

募集書類提出締切

2015年10月31日（土）当日消印有効（厳守）

※個人の事情や郵便事情などでの紛失、大幅に遅れた等の理由でも選考に間に合わない場合は審査できませんのでご了承ください。配達の確認は配達記録、書留などをご利用ください。

① 申請者は、提出書類を揃えて当財団へ、A4用紙が入る程度の封筒でお送りください。

その際、封筒裏面右下に、出身国を必ず明記してください。

② 提出は郵送でお願いします。直接の持参は審査対象外となります。

③ 郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金係

合否について

書類選考会

提出書類による書類選考

（書類選考結果…2016年1月下旬～2月上旬頃 通知予定）

面接選考会

書類選考を通過した方に対して行う面接選考

※面接選考はすべて 日本語 で行われます。

（面接選考結果…2016年3月中旬頃 通知予定）

選考結果は直接その採否を願書に記載の住所へ郵送します。

奨学生の正式決定

ガイダンスに参加後、入学許可書、誓約書等の提出をもって正式な決定とします。

合否に関するお問い合わせには一切お答えできません。

応募資格

1. 外国人留学生で、日本国の大学等の修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績、人格ともに優秀で経済的援助を必要としている方。
専攻分野は問いません（博士前期課程は修士課程とみなし、応募可能です）。

※現在、研究生の方でも2016年4月に修士課程入学を予定されている方は応募可能です。

2. 2016年4月から入学する方、または2015年秋から入学する方。
（2015年秋入学の方の奨学金支給期間は、2016年4月から修士課程修了までです。）
3. **2016年1月23日（土）または2月21日（日）**に行う面接選考を受けられること
2日間のうち、どちらか指定された日になります。日にちの変更はできません。
4. 当財団の奨学生として採用決定後、ガイダンスに参加できること。
5. 2016年4月1日現在において、年齢が29歳以下の方が望ましい。
※2016年4月1日現在において、年齢が30歳以上になる方は「**今、留学を希望する理由**」を提出してください。
6. 住民票の在留資格から、日本在住であることの確認ができる。（表記の例：留学、永住者等）
または、これから在留資格を取得できる予定の方
（海外より応募される方は事務局までご連絡ください。）
7. 日本語ができること

※以下の方は応募対象外となります。

- ・現在、修士課程に在籍している方（2015年秋入学の方をのぞく）
- ・2016年4月に博士後期課程へ進学する方
- ・研究生、研修生、専攻生、聴講生、交換留学生として進学予定の方
- ・他の機関から奨学金の援助または特典を受ける方

提出書類

表中の1～11迄の書類を揃えて、当財団宛に郵送してください。

提出書類には、イ.すべての方が提出する書類 と ロ.対象者のみが提出する書類の2種類があります。

イ.すべての方が提出する書類

申請者すべての方が提出する書類です。

各書類の注意事項も合わせて必ず読んで、記入・作成してください。

書類名	書式	言語	記入手段	
			手書	PC
1. 申請願書	財団指定用紙 2016.①～⑧ (A4 × 8枚)	日本語	○	×
2. 推薦書1通 (2通まで提出可)	表紙：財団指定用紙 “推薦書 表紙”(A4)添付 本文：別紙(A4)に記入	日本語 または 英語 (上記以外は公証印 付きで日本語訳添付)	○	○
3. 成績証明書 (大学学部、大学院)	大学等にて発行 (コピー不可)	日本語 または 英語 (上記以外は公的機関 (P.5参照)からの日本語 訳添付)	—	—
4. 日本の印象 <エッセイ (or 作文) を 作成して下さい。>	A4 2,000字程度	日本語	○	○
5. 留学先(日本の大学院) における研究テーマについて <具体的にまとめて下さい。>	A4 2,000字程度	日本語	○	○
6. 語学力証明書	コピー可	日本語	—	—
7. 住民票 ※在留資格、在留期間が <u>明記してあること</u>	コピー不可	日本語	—	—

《 1.申請願書への記入における注意 》

- 申請願書はすべて片面で印刷してください。
- 申請願書は申請者本人が日本語で、すべて手書きで記入してください。
- 選択の設問にはどちらかに○印をつけてください。
- 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないでください。
- 「奨学希望期間」は、留学先大学院の修士課程に在籍する期間で、授業開始月から2年以内になります（例：2016年4月～2018年3月）。
- 「学歴・職歴」、「研究業績・賞罰」、「現在までに受けた奨学金」、「家族状況」で枠に書ききれない場合、願書の同じページをコピーし、続きを記入して提出してください。
上記以外の各記入欄は、与えられた枠からはみ出さないように記入してください。
別紙による提出は認められません。

《 2.推薦書への記入における注意 》

提出した推薦書は一切返却いたしません。

- 推薦書は申請者本人の経歴、人柄、大学院での研究などについてよく知っている方（出身大学や高等専門学校等の指導教員、在籍大学の指導教員、進学先予定大学の指導教員など）にお願いしてください。
- 財団指定用紙“**推薦書 表紙**”を**必ず添付**のうえ、提出してください。ない場合は**対象外**になります。
別紙（推薦者の方へ：推薦書の記入について）の注意事項を厳守し、必ず厳封にて提出してください。

《 3.大学学部、大学院の成績証明書における注意 》

コピーの場合は審査対象外とします。

複数の大学等（短大、高等専門学校、専門学校、交換留学等海外の大学を含む）に在籍した方はすべての成績の原本を提出してください。コピーは原則として認められませんが、**公証印**が押されたものは提出可能です。（但し、公証印自体がコピーされている場合は、無効です。）

また、英語または日本語以外の証明書の場合、別紙で公的機関（大使館・総領事館・大学等）から認められた日本語訳をつけてください。

※GPAによる評価が行われている大学の場合は、GPAが記載された成績証明書を提出してください。

《 6.語学力証明書における注意 》

（公財）日本国際教育支援協会による日本語能力試験、または日本留学試験（日本語科目）の成績通知書（コピー可）。日本語能力試験は必ずスコアと合否が記載された書類を提出してください。証明書が提出できない場合は、「提出できない理由」と「日本語を学んだ経過」について、A4用紙にまとめて提出してください。日本語学校など、参考となる成績（コピー可）があれば添付してください。

《 7.住民票における注意 》

在留資格、在留期間が明記されていること。（明記されていない場合は、審査対象外となります。）
コピー不可です。（※外国人登録をしている市区町村役場に請求してください。）

ロ.対象者のみが提出する書類

下記は、対象者のみが提出する書類です。**申請者は自分が該当するかよく確認の上**、提出漏れがないようご注意ください。

書類名	対象者	内容
8. 作品	芸術関係専攻 → 必須 建築関係専攻 → 任意	a)音楽関係 →CD・DVD(録音時間は特に指定なし) b)絵画及び彫刻等 → 写真(枚数は特に指定なし) c)映像関係 → DVD (スライドは不可) 上記以外は財団事務局にご相談ください。
9. 作品の評価書 (1通)	<u>8の作品を提出した方</u>	①提出した作品について第三者の専門家による レターヘッド付の評価書を厳封にて提出 してください。 ②文章は日本語で作成し、最後に 執筆者の役職・署名(自筆) を記入・捺印または サイン してください。 推薦人と同じ方でも可能です。 ③申請者と執筆者との関係も記入してください。 パソコンでの作成も可能です。
10. 今、留学を希望する理由	<u>2016年4月1日時点で</u> <u>30歳以上の方</u>	A4用紙 <u>1枚</u> に日本語で詳細に書いてください。 パソコンでの作成も可能です。
11. 留学先の入学許可証 または合格通知書、 在学証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年 秋 入学の方：在学証明書（原本） ・2016年 4月 入学の方：入学許可証 または 合格通知書のコピー ・応募の時点で合格していない方： <u>申請願書の1枚目にある試験日程等の記載欄に必ず記入してください。</u> 	

提出書類についての注意

写真、提出書類の不足や指定以外の追加書類、指定に従わない書類は審査対象外となります。

次に掲げる諸注意を確認の上、丁寧に作成してください。なお、やむを得ない事情がある場合は、当財団事務局に連絡し指示を受けてください。

- ① 書類は全て黒インクまたは黒のボールペン（※フリクションペンでの記入は審査対象外）を使用し、楷書（アルファベットは活字体）で記入してください。修正液等の使用は可とします。
また、A4用紙にて作成してください。
- ② 不明な点があるときは自己判断をせず、申請者本人より電話でお問い合わせください。
その際、Eメールや手紙、代理人によるお問い合わせはご遠慮ください。
- ③ 提出期限に間に合わない書類があるときは、事前に事務局に相談し許可を得てください（許可なく提出期限に遅れて提出された書類は、審査対象外となります）。
※語学力証明書が遅れる場合については<6. 語学力証明書における注意「P. 5」>を参照し指示に従ってください。その際、事前に事務局から許可を得る必要はありません。
- ④ 提出書類、作品等は一切返却出来ませんのでご了承ください。
- ⑤ 願書や書類等はホチキス等で留めないようお願いいたします。

個人情報について

申請願書に記載された内容、および提出書類は個人情報として取り扱われます。以下に基づき、皆さまにお知らせした内容以外の目的では利用いたしません。また、利用目的に照らして不要となった個人情報については、一定期間で保管した後、破棄いたします。

【事業内容】

- ① 外国人留学生に対する、奨学金給付事業
- ② その他目的を達成するために必要な事業（交流事業等）

【使用目的】

- ① 外国人奨学生選考のため（募集、選考、から採用決定まで）
- ② 奨学金支給に対しての諸手続き
- ③ 採用者（以下、奨学生）への交流事業のご案内、財団の機関誌等への掲載
- ④ 公官庁、関連財団等への奨学生の報告
- ⑤ 全般的な留学事情の把握、調査など、奨学金事業を充実するため
- ⑥ その他、採用された奨学生とのやりとりを適切且つ、円滑に履行するため

採用後の注意事項

① ガイダンスへの出席

- 採用決定者には手続き等の説明の為、ガイダンスを行います。
- 採用決定者については、出身大学へ採用の旨、お知らせすることがあります。

② 奨学期間の延長申請および大学院変更申請

- 留学先が決定した後、奨学期間の延長が必要な方や第一希望の大学院から変更があった方は審査が行われますので、それぞれ申請書を作成してもらうこととなります。

③ 奨学期間中、終了後にレポート、成績証明書、各証明書等の提出。

④ 奨学期間終了後のお願い

- 奨学期間終了後は、当財団主催の催しへの参加、アンケート等への協力をお願いします。

お問い合わせ・郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金係

電話 03-3299-7872 FAX 03-3299-7871

Home Page: <http://www.itofound.or.jp>

※土、日、祝日を除く、午前9時～午後5時まで受け付けます。

なお、12月28日～1月3日は休日とさせていただきます。

《推薦者の方へ：推薦書の記入について》

お手数ですが、以下の内容をお目通し頂き、ご記入願います。

To the Recommender: Regarding the Writing of the Recommendation.

①次ページ“推薦書 表紙”の記入欄に作成日、推薦者の氏名（自筆）、捺印（印鑑がない場合はサイン）、所属先・役職、電話連絡先（申請者について問い合わせをすることがあります）を必ず記入してください。

Please use the attached designated form “Letter of Recommendation Cover” and provide the date, your name (in your own handwriting), seal or signature where a seal is not available, the name of the university or company and applicable department to which you belong, your title or position, and telephone number. We may contact you if the need arises.

②文章は日本語または英語で作成してください。

（本文はPCで作成可です。ただし、本文を記入した書類には全て、捺印またはサインをしてください。）

Please write in either English or Japanese. **The body of the recommendation can be typed, but please make sure that *all pages* you typed require your Seal or Signature.**

③推薦文の内容としては申請者との関係、申請者の学力、人柄、大学院での研究などについて具体的に記入してください。

Please write about your relationship to the applicant, his or her academic ability, character, and graduate research, etc.

④記入後は、“**推薦書 表紙**”と**推薦文を厳封**の上、申請者にお渡しください。申請者が他の申請書類と一緒に当財団へ提出します。

Once completed, please enclose **“Letter of Recommendation Cover” and the body of recommendation** in an envelope, sign across the seal, and return it to the applicant. He or she will then submit it along with all other application materials to the ITO Foundation.

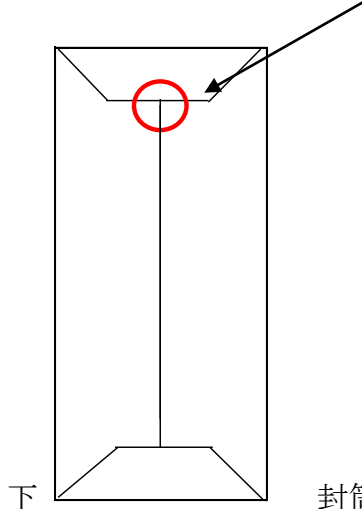
Thank you for taking your time to fill in this form.

※当財団指定厳封方法

厳封印、推薦者印、推薦者署名のどれか

上

(Recommender's Seal or Signature at this place)



封筒裏面 (the underside of an envelope)

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団
理事長 佐藤 哲也 殿

推 薦 書

Letter of Recommendation

作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

Date (Year, Month, Day)

推薦者氏名 _____

Name of Recommender

印

(Seal or Signature)

所属先・役職 _____

Title or Position, Affiliation

電話連絡先※ _____

Telephone

※申請者について問い合わせることがあります。

ITO Foundation Office may contact you at the number given above when necessary.

※記入後は、“推薦書 表紙”と推薦文(別紙にご記入)を~~厳封~~の上、申請者にお渡しください。